

投資家の皆様へ

INVESTORS' GUIDE 2009-2010



きれいにしよう日本の空を

日本空調サービス株式会社

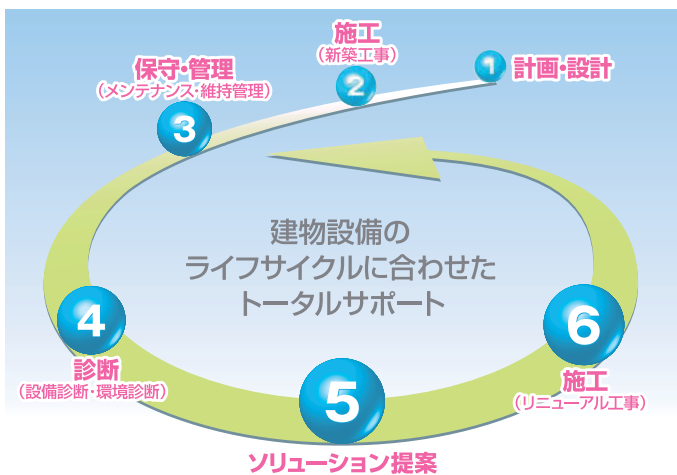
お客様に安心感を与える
最適な環境を維持するために、
技術力と人的資源を結集させ、
高品質サービスを提供する
「環境創生企業」

● TOP INTERVIEW

1964年の会社設立以来、常に業界をリードしてきた日本空調サービスは、2007年に東証・名証一部上場を果たし大きく成長を遂げた。今後、日本空調グループが目指す方向とは――。絶えず走り続ける日本空調グループ、その中核を担う同社の生駒社長に話を聞いた。



代表取締役社長 生駒 讓三



生駒 ひとつは、**独立系企業**であるということ。特定のメーカーに限定されずにあらゆるメーカーの設備機器を取り扱っていることは、特徴であり強みだと思っています。

そして、**ビジネスモデル**にもあります。建物設備のメンテナンス・維持管理、設備・環境診断、ソリューション提案、リニューアル工事と建物設備のライフサイクルに合わせたトータルサポートを当社1社で全て提供することができます。

日本空調サービスの特徴と強みは何ですか？

また、大型病院のFM（統括管理）事業では、設備のメンテナンスに止まらず、手術室の無菌化や放射線の漏えい測定、水質検査等の**特殊業務**も**全て自社対応**できることは、ビルメンテナンス企業にとって大きな付加価値であると考えています。

様々な業務に対応するために、人材育成をどのように行なっていますか？

生駒 当社グループは建物設備のメンテナンスを中核事業とするサービス業です。メーカーと違い、製品や商品を持たない私たちにとって、1番大切なのは**人的資源**です。そこでグループ内に「日本空調大学」（仮想）を創設し、「基礎」、「専門技術」、「マネジメント」の3部門での教育体制を構築し、社員のキャリアアップを図っております。

また、業務上必要な資格取得を促すための公的資格奨励制度や、主要メーカーの設備機器を取り扱えるよう社外研修等にも力を入れております。このような研修を行なうことで、当社グループ独自の「**高い技術力とサービス力**」が養われ、ひいては他社との差別化に結びつき「**日本空調ブ**

「ランド」として評価していただけるかと考えております。

主な公的資格保有状況

会社貢献度 (件)			取得難易度 (件)		
1	管工事施工管理技士 1級	121	1	電気主任技術者 第1種	4
2	電気主任技術者 第3種	89	2	建築設備士	7
3	建築物環境衛生管理技術者	122	3	管工事施工管理技士 1級	121
4	エネルギー管理士	33	4	建築施工管理技士 1級	1
5	ボイラー技士 1級	111	5	電気工事施工管理技士 1級	12
6	冷凍空調和機器施工技能士 1級	28	6	エネルギー管理士	33
7	消防設備士 甲種第4類	51	7	ボイラー技士 特級	6
8	冷凍機械責任者 第3種	361	8	冷凍機械責任者 第1種	50
9	電気工事士 第2種	329	9	作業環境測定士 第1種	24
10	作業環境測定士 第1種	24	10	放射線取扱主任者 第1種	3

※会社貢献度および取得難易度のランキングは、自社判断によるものです。

資格保有件数 **5,049件** (2009年3月末現在)

環境・エコについての取り組みをお教えください。

生駒 私たちは、常日頃のメンテナンスを通じて、設備の状態、エネルギーの使用状況を的確に把握しています。これは、お客様毎のニーズに沿った**きめ細やかで質の高い省エネ・CO₂削減提案**を行なえるということなのです。つまり、お客様の省エネ・CO₂削減に向けた取り組みに貢献することで、間接的に環境への負荷低減に参画していると思っております。

また、2009年4月よりグループ会社である(株)日本空調北陸にエコ事業部を新設いたしました。北陸地方を中心に一般住宅向け太陽光発電システムを設置業務を手掛ける目的でスタートしましたが、積極的なPR活動の甲斐もあり、個人住宅はもとより、学校関係者から多数の引き合いをいただくことができました。

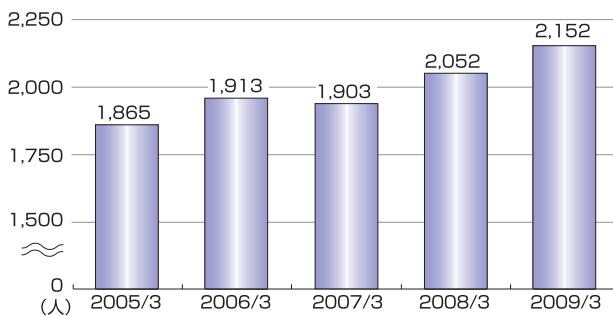
環境に携わる企業として、こうした取り組みを通して、今後も積極的に社会への貢献を図ってまいりたいと思っております。

このところ、利益の伸びが鈍化していますが、どうしてですか？

生駒 これは事業拡大に向け、今まで以上に人材確保を活発に行なったことが主な要因です。グラフにありますように社員増加に伴い、人件費が増加し一時的に利益の伸びを押し止めておりますが、私たちのようなサービス業にとって**必要不可欠な先行投資**といえます。業務における基本的な知識や技術力を身に付けるまでには最低3年程度必要であり、先を見据えた採用が必須となります。メーカーにとって設備投資が必要な

ように、当社グループにとっては人材を採用することこそが**将来の事業拡大に向けた投資**なのです。

連結従業員数推移



(注) 従業員数は、臨時及び嘱託社員含む

景気状況悪化に伴う影響はありましたか？ また、今後の中長期的な展望をお教えください。

生駒 世界的な景気後退を背景に、当社グループも厳しい経営環境となっております。特に製造工場における設備投資・更新の延期が顕著に現れてきており、加えて一般的なメンテナンス費用の見直し、削減も続いております。しかしながら、当社

グループの得意とする大型病院、特殊施設等の分野では新規受注、契約拡大もあり、売上全体としては順調に推移しております。

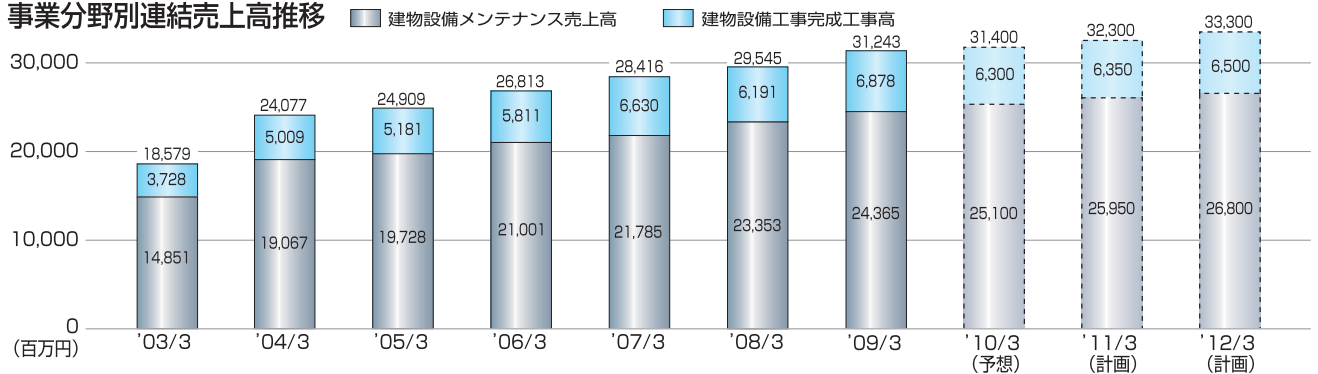
また、こうした情勢ではあるものの、お客様の環境や省エネルギーに対する関心は一層高まっており、引き続き当社グループならではのノウハウを生かした環境改善提案活動を展開してまいります。

株主還元策をお教えください。

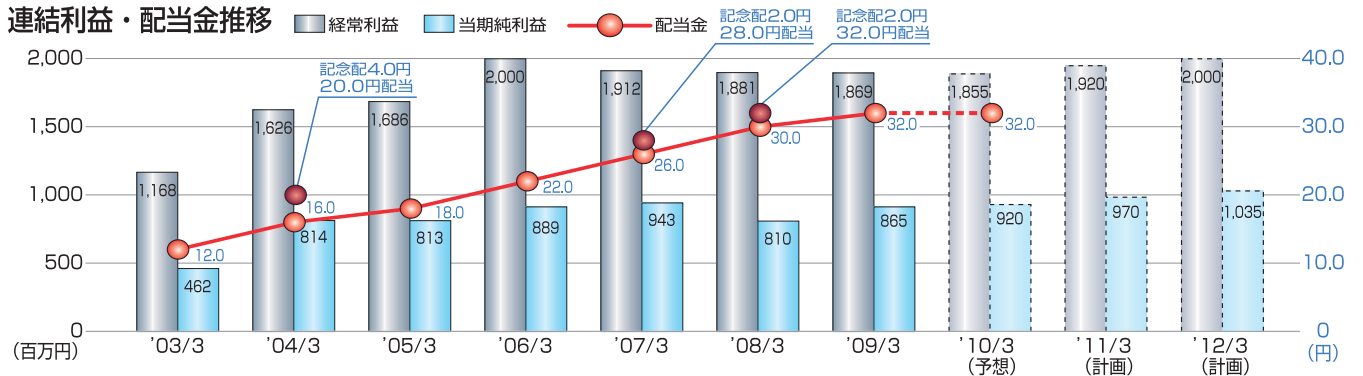
生駒 株主の皆様へは引き続き**配当金**で還元していく予定です。「連結配当性向30%を目標に安定した配当の継続」という基本方針のもと、2009年3月期も実現することができました。

(09年3月期連結配当性向32.1%)
今後につきましても、堅実な経営姿勢を貫き、株主、投資家の皆様に安心して投資いただける企業であり続けることでご期待にこたえてまいります。これからも、日本空調グループの「経営理念」、「企業カルチャー」をご理解いただき、ご賛同いただける投資家を求めて、より一層充実したIR活動を行なっていく所存であります。

事業分野別連結売上高推移



連結利益・配当金推移

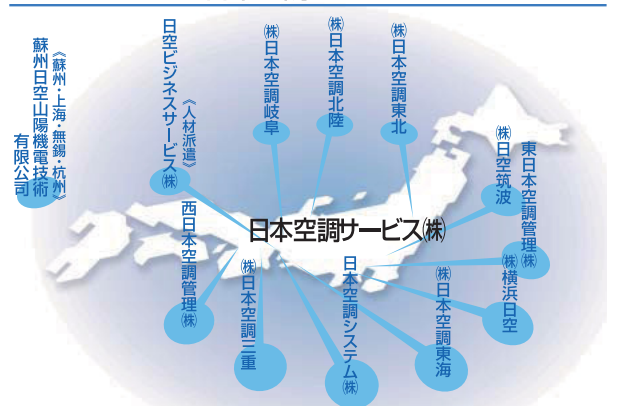


連結経営指標

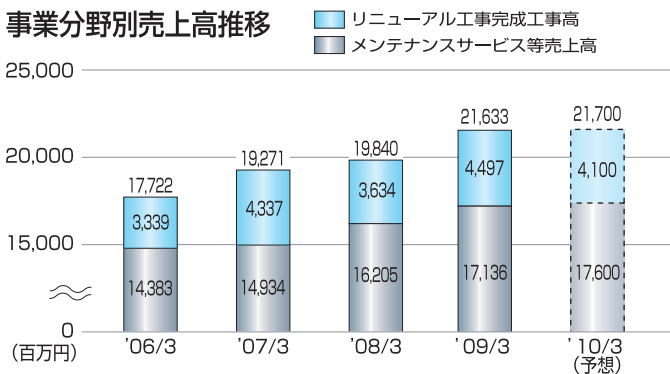
	2006/3	2007/3	2008/3	2009/3
自己資本利益率 (%)	12.6	11.9	9.7	9.9
自己資本比率 (%)	41.2	43.6	46.0	45.6
1株当たり当期純利益 (円)	100.81	108.56	93.15	99.83
1株当たり純資産額 (円)	880.11	945.58	984.92	1,027.11
株価収益率 (倍)	11.4	10.5	8.1	7.4
株価純資産倍率 (倍)	1.3	1.2	0.8	0.7
配当性向 (%)	21.8	25.8	34.4	32.1
従業員数 (名)	1,913	1,903	2,052	2,152

注) 従業員数は、臨時及び嘱託社員含む

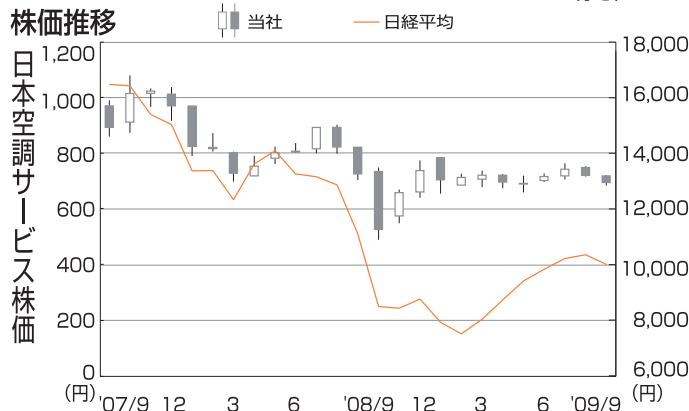
日本空調グループ



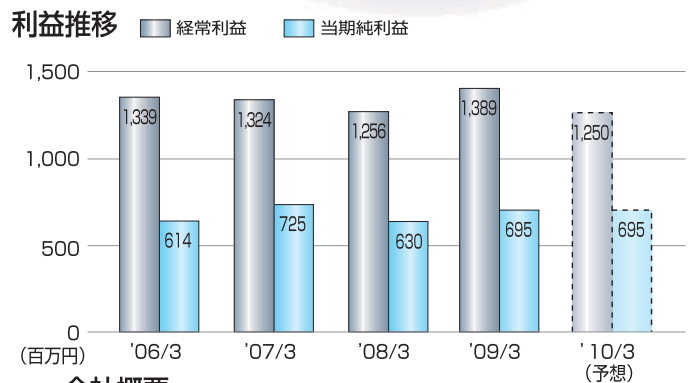
事業分野別売上高推移



株価推移



利益推移



会社概要

社名	日本空調サービス株式会社 NIPPON KYUCHO SERVICE CO., LTD.
本社	〒465-0042 名古屋市名東区照が丘239-2
設立	1964年4月28日
資本金	1,139百万円
決算期	3月31日
証券コード	4658
業種分類	サービス業
投資単位	100株
上場証券取引所	東京証券取引所第一部 名古屋証券取引所第一部

※本資料に記載の業績の予想・計画は、2009年10月30日時点における公表数値です。

●お問合せ先

日本空調サービス株式会社 経営企画室 広報チーム

TEL 052-773-2513

FAX 052-771-9790

URL <http://www.nikku.co.jp>

E-mail ir@nikku.co.jp